

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	海技実務Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	0045			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	商船学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	後期:2		
教科書/教材	各分野に応じた参考書						
担当教員	伊藤 友仁,鎌田 功一,小島 智恵						
到達目標							
・ 商船学科として望ましい資格試験に合格する。 ・ 本科の授業等で学べない、幅広い知見を得る。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	各種資格の合格（科目合格は不可）					資格試験に合格しない	
評価項目2	インターンシップ、特別講義などに参加					インターンシップ、特別講義などに参加しない	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育目標（B3）海事技術者としての専門知識							
教育方法等							
概要	・ 商船学科として望ましい資格試験に合格する。 ・ 本科の授業等で学べない、幅広い知見を得る。						
授業の進め方・方法	・ 各種資格の合格をめざす。科目合格は不可。 ・ インターンシップや特別講義では、時流の先端となるような知見を得るようにする。 ・ 資格については各試験の合格で、インターンシップ・海外語学研修および特別講義に関しては報告書またはレポート等を提出することで単位を認定する。 ・ 講義は受講者自らが試験に必要な項目毎に問題を調査し、模擬解答をつくり発表するゼミ形式でおこなう。また、担当教員の指示があった場合はそのやり方に従う。						
注意点	・ 単位認定の手続きは、各学生の責任において行うこと。 ・ 資格取得を希望する場合は真剣に取り組むこと。						
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	1級海技士（航海）筆記 1級海技士（機関）筆記			1級海技士（航海）筆記に合格する 1級海技士（機関）筆記に合格する	
		2週	気象予報士			試験に合格する	
		3週	通関士			↑	
		4週	貿易実務検定（B級以上）			↑	
		5週	海事代理士			↑	
		6週	第1級陸上無線技術士			↑	
		7週	ボイラ技師			↑	
	8週	電気主任技術者			↑		
	4thQ	9週	冷凍機械責任者（2種以上）			↑	
		10週	危険物取扱者（乙種）			↑	
		11週	技術士補			↑	
		12週	工業英語検定（2級以上）			↑	
		13週	インターンシップ			5労働日以上の期間を有するもので、所定の報告書を提出した場合	
		14週	海外語学研修			本校が認定したもの	
		15週	特別講義			講師を招聘できた場合に実施（15時間以上）	
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	80	80
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	80	80
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0